



まろで  
あふち  
あ〜と

Artist HAL\_ 40年の軌跡



**新**型新型コロナウイルスの感染が拡大して三年、日本全体の経済活動が停滞し、当初目に見えなかった所にまでコロナ禍の影響が及んでいることが表面化してきています。世界が社会活動を維持しながらコロナに対応せざる追えない状況下、ニュースを見ていると過去には考えられなかったような事件や事故が多発し、子供達までがうちにこもる

生活を余儀なくされ、結果ストレス過剰になり、心にゆとりがなくなってきたように感じられます。日本政府も窮屈な生活の中で、少しでも余裕が出るように経済支援を行っています。しかし、経済活動を活性化させるだけで、ゆとりは得られるのでしょうか。人が人として生きるために必要なことは、経済活動とともに心を豊かにすることです。そのために必要なのは文化活動、そして、アートの心なのではないでしょうか。芸術の秋、アートの心を見つげに、ぜひ会場に足をお運びください。

**現**代の日本では「アート」と言うと、著名な画家の描いた崇高で高級なものであるかのように、特別視することが多いように感じます。もちろん美術館に展

示される迫力のある宗教絵画や、オークションで高額取引される魅力的な「アート」があることは事実です。しかし、そのような作品だけが、見る人に夢を与えたり、希望を与えたりできる「力」があるわけではありません。自分の子供が描く作品や、知り合いの画家が描いた小さな作品にも大きな力があるのです。

**私**が持つ「アート」のイメージは、玄関やリビング等の壁面に飾られ、お客様を迎えたり、机の前に置きそれを眺めることで、ほんの少しの「安らぎを願う心」が反映される事が大事だと思っています。この本をお読みになり、身近に存在するアート作品にも特別な力がある事を、あらためて認識していただければ嬉しいです。

※ここで言う「アート」とは、日本語で言う「藝術」とりわけ「美術」を意味することとして話しています。文字の意味よりも、読み終わった後に「気楽にアートと付き合うことが大切なんだ」と思っていただけでも嬉しく思います。

○であそぶあーとという名の回顧展

丸が描きたかった。

随分前から丸を描きたかった。

ただ、どうすれば私の丸が描けるのかが分からなかった。

紙に鉛筆で丸を描いてみた。

その丸をハサミで丸く切り抜いてみた。

内側は丸く切り取られ、外側にも丸が残った。

私の描いた丸が無くなり、二つの丸が残された。

心に平和を

## 目次

金属彫刻家の時代	4
アートとは何？－気軽にアートを楽しむ	6
デジタル版画「平成浮世娘絵」	6
アートの理念	8
aiD'en	9
アートの謎（アートとは何）	10
Jazz Man 達	11
アートの文脈	12
愛犬達の肖像版画展	13
パブロ・ピカソの文脈	14
Season 四季	15
現代アートとは	16
危険な仲間達	17
「人參（私）」のいる風景（五蘊）	18
自由に生きるためのアート	19
日本文化を大切にする心	20
私の個展開催の考え方	21
国立ギャラリーキタガワ	22
世界を変えた男達	23
2015「旅」-portray- Yellow Toes 柿落とし展示	24
Artist HAL_ の6SENSE Ex	26
- room - ハウススクエア美術館	28
IMAGINE コロナの中で愛を叫ぶ HAL_ & YONOA	30
Sound Drawing	33
食と美術と音楽と /KLIMT & UKIYOE Hommage	34
アート包装紙	35
まる○であそぶあーと in ArTone	
現代アートを探る	36-40
シリーズ作品リスト	41
Artist HAL_ profile	42

A retrospective exhibition called playing with ○ Maru

I wanted to draw a circle.

I've wanted to draw a circle for a long time.

I just didn't know how to draw my circle.

I drew a circle on paper with a pencil.

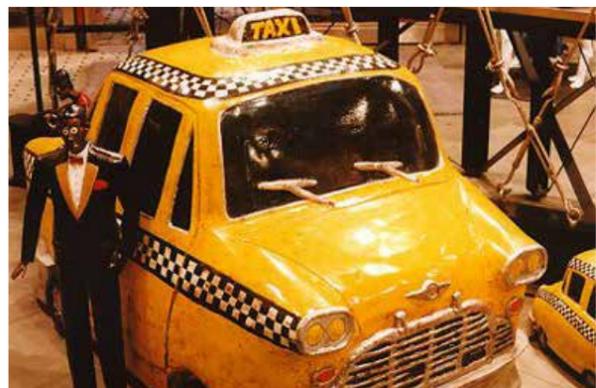
I cut out that circle with scissors to make a circle.

The inside was cut out as a circle, and the circle remained on the outside.

The circle I drew was gone, and two circles were left.

Peace in your heart.

- 1994 光のオブジェ展 (LIVINA YAMAGIWA)
- 1995 Jazz と金属造形 (代官山 Birthday)
- 1996 銅の Jazz Man 達 (WAVE 池袋)
- 1996 銅製オブジェ展 (横須賀 WALK)
- 市ヶ谷 TiS (JR 西日本) 気球オブジェ
- 千葉パブリックオブジェ
- 国立ブランコ商店街アーチ、ブランケット
- 西武デパート、LOFT、等々への商品展開
- その他



気楽にアートを楽しむ

子供の頃は画用紙の上にクレヨンで自由な線を描いていたのに、それがいつの間にか自分の絵を、他人の絵との比較で見なくなり、気軽に絵を描けなくなってしまいました。さらには描くことを諦めてしまう人が多くいるように感じられます。「言葉にならない大きな感情の動きがなければ絵にはならない」と思い込んでしまっている事もあるのでしょう。

心の中にある悲しい思い出や恐怖心のような感情に執着して描くことで、絵の持つ見えな力は大きくなり、影響力も大きくなっていくことはわかります。作品を見た人と共感し合い、人々を幸せにするような作品は私も作りたいと思っています。しかし、今は描きたいと思った時に、描きたいものを描く、その姿勢ひとつで絵を描くことが大切だと考え直しています。幼かった頃を深く考え、思い出してみてください。赤いクレヨンを手を持ち、真っ白な紙の上に手を動かすとクレヨンの真っ赤な軌跡が残るのです。なんと楽しく素晴らしい時代でしょう！

デジタル版画「平成浮世娘絵」リレー展示

平成浮世娘絵展は当時渋谷明治通沿いにあった出力センターの展示からはじまり、その後イラストレーターだった桑島幸雄氏との二人展として、大阪のギャラリーでの平成浮世娘絵展、福岡のデジタルハリウッド作品展の中で開催された平成浮世娘絵展、次々に展示場所をリレーしながら開催が続いたことが特徴的だった展示でした。はじめは渋谷に出没していた金髪ギャングロの女の子達「コギャル」を平成の特徴的モチーフとしたので、デザイン系の雑誌にも面白がられ掲載して頂いていました。おかげで、その記事を取材時に各地で見せながら、当時の風俗の中心にいた彼女達に声をかけていたので、写真撮影も楽にさせてもらえ、その写真から新しい作品を制作をして、次の会場で

展示するというスタイルでの展示だったので、とても楽しく続けて行くことができました。

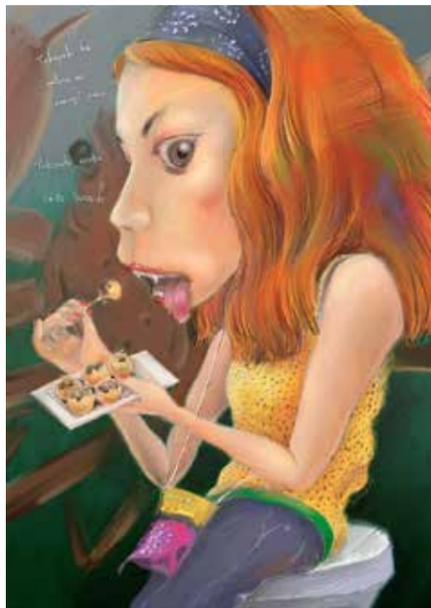
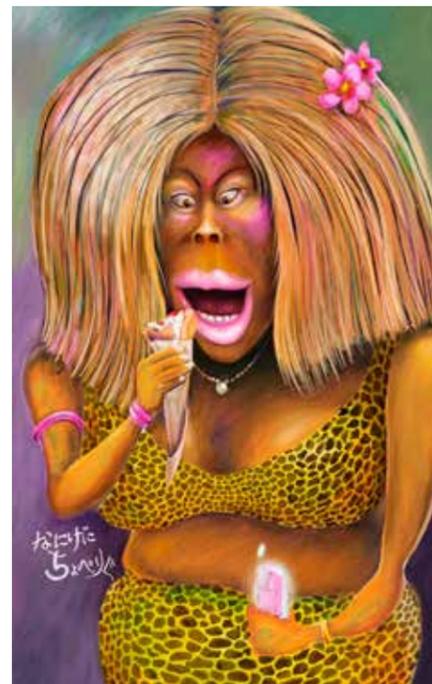
デジタルカメラもようやく一般的になり、解像度は小さかったのですが、何枚撮影しても後で良いものだけを残していくことができ、気軽に撮影できるようになった事で、写真をモチーフとするにはライブ感があり、最高の時代が訪れたという思いがありました。このあたりの時代から、肖像画を楽しみながら制作するという考えが芽生えたのだと思います。

今はスマートフォンでいつでも撮影できることが一般的になったのですが、個人情報保護と言う考え方から、警戒心も強くなり撮影しにくくなってしまった気がします。



最終電車のギャル

シリーズ「平成浮世娘絵」を作るきっかけとなった一枚の写真。OLさんだろうか、深夜の電車の中で無防備な姿を見て思わず撮影してしまったが、今考えると犯罪行為と言われかねない撮影。この時は朝見た強烈なピンクのヘアスタイルの女の子に変身させるということだけを考えて描いていた。朝、私の乗った車両は TM NETWORK に染まっていた。



アートの理念

ネットを垣間見ると「アートは理念（普遍的完全な存在）でなければならない」とか、「精神的な創造活動」などと言う意見も多く見受けられます。国や地域、社会が変わっても「普遍的なものとして定義づけられた理念がアートになる」と言うことでしょうか。描く側の人間として、それもわからない事はありません。過去の私もそういった考えは持っていました。しかしアートは、そんなに気高い考えの中で描かれるものなのでしょうか。アートは心の扉を広く開き、小さな幸福感が生まれ、絵を見ることで楽しさが沸き起こる様な小さな絵にも力があります。自我に固執した考え方にとらわれることで、見方に偏りができたり、こだわりが起こること。心がとらわれしまうと見方は狭くなり、作品も小さくなりがちになります。いま一枚の絵を目の前にして、悲しく感じる作品も、次の日には楽しさが感じられる絵になることもあります。社会の中で人の心の動きと共に、目前にしている絵も時間と共に変化していくのです。

元々世の中に普遍的なものなどありません。あたかも未来永劫残るかもしれないと思われる作品も、空気にさらされて色は変わり絵の具も落ちていきます。それは誰にも止めることはできません。大自然の中に存在する力は計り知れず、大きな山も目には見えませんが常に動いているのです。

アートは科学技術の進歩と共に動いています。紙の発明がなければ版画が生まれることはなく、絵の具はチューブの発明があったからこそ印象派作品が生まれています。私がデジタル版画を始めた頃はデジタルという言葉だけで「機械が描いた絵」と考える人が多くいました。今はAIが描くアートが話題に上る時代、次にどんな変化が起こるのか、とても楽しみでワクワクします。絵を描く上での理念など必要ないのです。

aiDen ( エスタンプ・ヌーメリック )

当時コンピューターで大きな絵を描く事がようやくできる様になった時代、大型プリンターが力をつけてきた事や、アート作品を出力する専用の用紙が開発され、美しい表現ができる様になった時代でした。そこでデジタル絵画を世に広めていこうと言う心意気を持った作家たちが、半年以上かけて作品制作から展示会場、開催費用を準備し、日仏学院（飯田橋の日本とフランスの架け橋を作る学校）で開催を決めた展示会。会期は2001年12月中頃だったが、大好評で、年をあけて2002年1月末まで会期を伸ばす事になった。



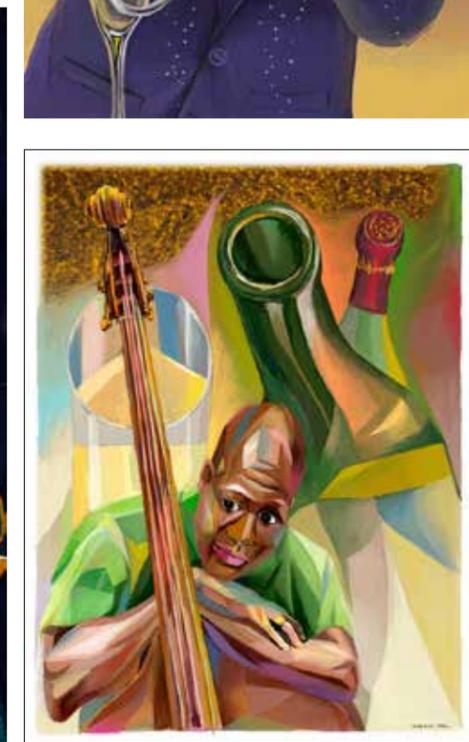
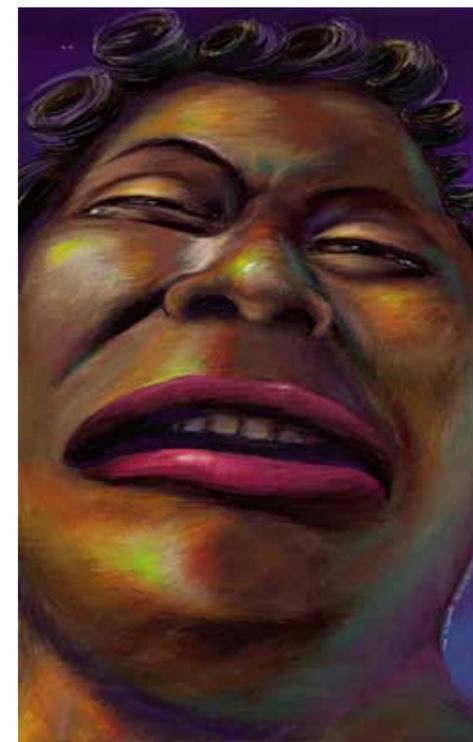
私の作品はル・コルビジェの弟子が設計したと言われる二重螺旋階段の塔の内壁と外壁の全てを使う事になり、外壁には3M x 5Mの大きな作品を一枚掛け、内壁には数多くのジャズマン達を当時は珍しかったキャンバス地や生地に出力して展示した。フランスではジャズが盛んなこともあり、高評価を得られた。

オープニングはフランス大使館からの人達やフランソワーズ・モレシャン氏が訪れたりしてロビーには人が溢れかえっていた。また、会期を通してロビーで富士通の大型モニターを使ったデジタルライブペイントがあり、全作家がリレー形式で担当した。

ル・レ・グルマン

エスタンプ・ヌーメリック展は場所を西麻布へと移し、青山での版画展を含め、全4回展示された。ル・レ・グルマンは西麻布の交差点にあったフランス料理の店での展示。シェフの料理とのコラボレーションで会場を埋め尽くした。右上の作品は私の大好きなシャンパンとのコラボで、グレンミラーをモチーフとした。右下もシェフの選んだシャンパンがテーマで、モチーフはカーチス・カウンスグループのランド・スライドと言う曲だ。会期後、前年に行われた「愛犬達の肖像版画展」の作品群も展示していただけた。

下の画像は日仏学院にかけた作品だが、2001年といえ忘れられ無い9月「アメリカと世界を変えた102分」と言われる、ハイ



ジャックされた旅客機4機が、ニューヨークの高層ビル世界貿易センターと米国防総省に突入すると言う大事件が起きた年。そこは数年前に訪れ、最上階で子ども達に囲まれたサンタクロースに会った場所、その思い出の場所が崩壊した。その事件を、なんととも言われぬ虚無感と哀しさに包まれながらTVニュースを見ていた。それは自然に作品自体に大きな影を落とした。

その後、青山三丁目の交差点にあった出力センタービクトリコ協力の元、入り口の階段及び店内全ての場所で「版画」と言う括りで展示される。この時の作品は浮世絵日本を意識した作品になったことは言うまでもない。



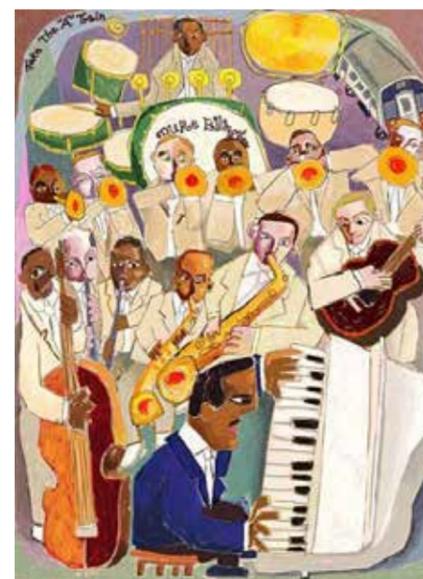
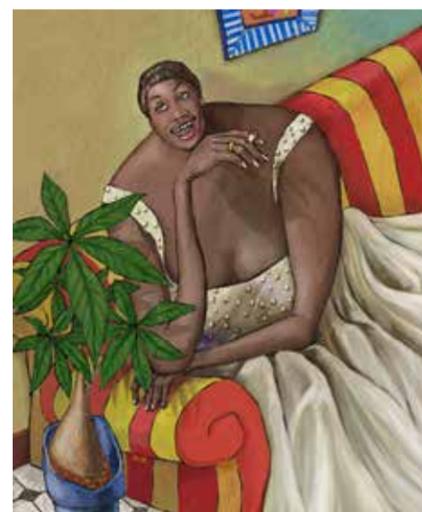
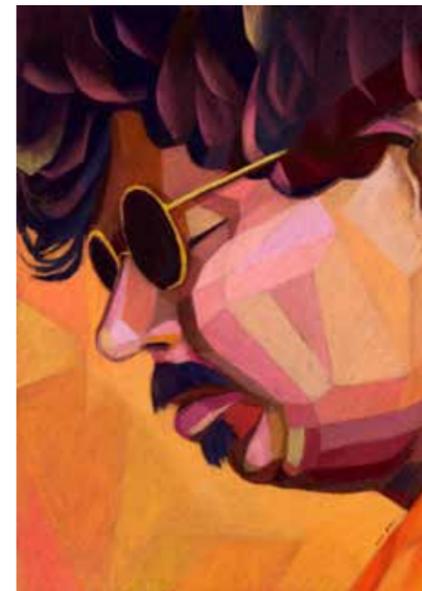
アート之谜 (アートとは何)

画家が絵を描くとき、何かに着想を得て頭に浮かんだことや物を、色と形で作品にしていきます。アートは画家による描画技法と創作意図により、見えなかったものを見えるようにする。考えられなかったものを考えられるようにする事ではありません。アート作品は画家の頭に浮かんだ物の比喩ではないのです。

子供が絵を描くように、アートを制作するときは、ただ「描く」と言う行為に没頭します。単純ですが絵を描くことが楽しいのです。考えると言うことは頭の中で文章化するという行為が大きいとは思いますが、絵を描くための言葉は必要ありません。あなたが、あなた自身の全てを言葉にしても、言葉に置き換えられないように、頭に浮かんだ全てを文章化することはできないのです。

サッカー選手がパスされたボールを蹴るときに、ひとつひとつ身体の動きを考えながらボールを蹴るでしょうか。美味しいものを食べる時に、全ての食材やスパイスの分量やカロリー計算しながら食べるでしょうか。サッカー選手は周囲の状況、蹴る方向、全身の力を瞬間的に考え、判断し、ボールを蹴ります。ものを食べる時には、様々な講釈を考えるより自然に「おいしい」と言う笑顔が作れる方が心豊かになります。絵画も同じように、文字にならない画家の理想がキャンパスに表現され、作品を見る人には、作家の思う理想より、全体の印象を自分の心とを対峙させながら感じとって欲しいのです。もちろん、画家が描いた理想を分析する人がいても良いでしょう。逆にそれは画家が知りたいところです。作品に興味を持ったら作家を調べたり、想像してみるのもいいでしょう。SNSで繋がるのもいいでしょう。自分が見ているアート作品が起点になり、全く違う世界感を想像するのもいいと思います。そんな様々な考えに思いを馳せることが出来れば、あなたの選んだ作品は、アートと

して独立した存在価値が持てる様になるのです。  
**作**品を描いた画家の考えと同じになる必要はないのです。描く人と見る人は全く違う感性を持った人間なのでから。  
**現**在では過去の画家の作品を毎日のようにアップしている SNS グループもあります。私も多くのグループに参加して楽しんでいます。もし気になった作品があればいつでも購入できる時代です。ぜひ直接繋がりをもち、新しい作品が作れるように作家を応援してください。



アートの文脈

自分の描く絵が「絵画の歴史」の中でどのような流れを汲み描かれているのか、どのようなコンセプト(考え方)で作られているか、表現方法はどこから影響を受けているか、作品を見ている人に伝えようとするため言葉にしていくことは大切です。批評家はそれらを「文脈」と言う言葉で表現しています。確かに文脈は必要かもしれませんが、でも、描く側に「文脈」と言うものは絶対的に必要なのでしょうか。私はそう言った言葉は批評家の方だけに預けようと思っています。

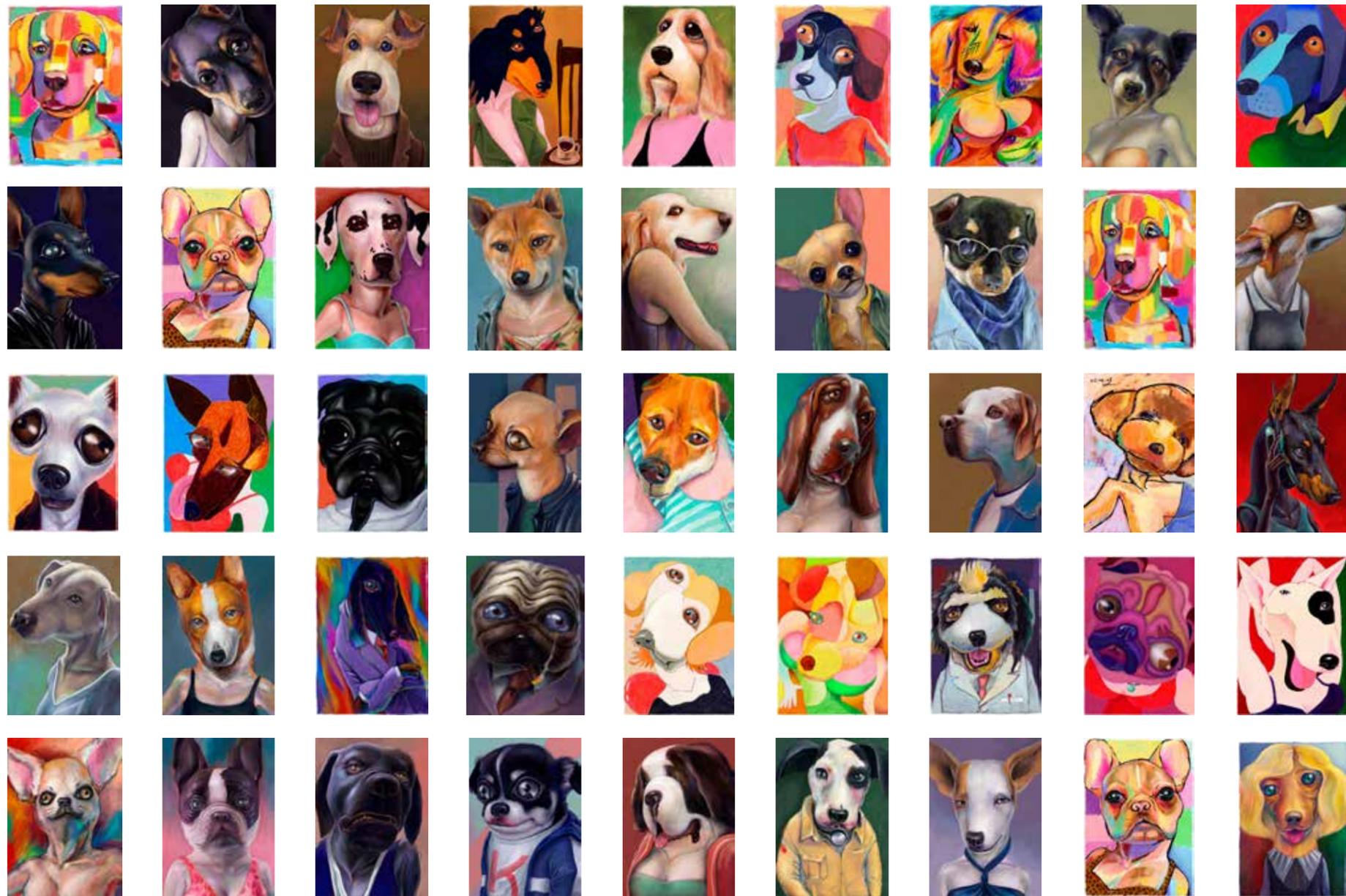
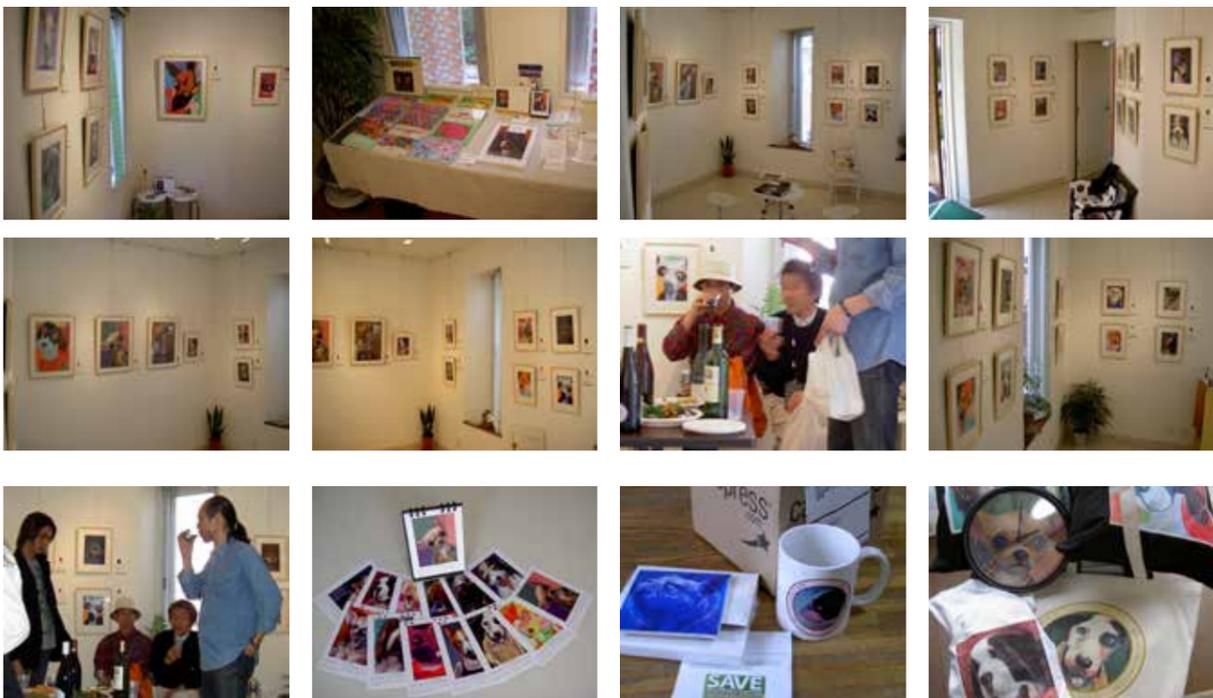
愛犬達の肖像版画展

ハイブリッド犬を13年間飼っていました。名前は「りきまる」と言います。所沢の航空公園で貰い手がいないかと、公園近くの家族がみんなで待っていたところで、偶然の出会いがあり貰ってきた子です。はじめて我が家に連れてきた時は、裏にあった簡単な作業部屋に入ってもらったのですが、夜のうちに壁を打ち破って外に出てしまっていたので、すごい力持ちだ!と言うことで息子が付けた名前です。息子の弟とも言える「りきまる」は賢い子でした。私たち家族は、彼のおかげで一緒に楽しい思い出を作る事ができ、共に成長できたのだと思います。

その彼が私の抱いた手のひらの上で打ち続けていた鼓動を静かに停めてしまいました。その後、彼が成長する中で散歩の時に出会った子や、どこかで見かけた子に吊ってもらうために50頭の犬達を一気に描き上げ展示した作品群です。実際には50以上の作品を作ったのですが、制作と展示費用を今で言うクラウドファンディングの様な形で作り上げた展示会でした。



愛犬：りきまる



## パブロ・ピカソの文脈

**特**に最近、現代アートでは美術の歴史的な文脈を重視することが大切だと言われます。しかし私がリスペクトしている、誰もが知っている、パブロ・ピカソの作品を考えてみました。

**ピ**カソは自分のアートの歴史を自分で切り開いています。コンセプトは世に言われるように、常にそばにいた様々な「女性達」なのではないでしょうか。もちろんそのような作品もあるでしょう。でもピカソは友人の死を題材にしたり、ゲルニカのように政治的なメッセージの強い作品も作っています。一つのスタイルに固執しない彼の作品表現力の豊かさは、誰もが知りうる事です。それでも彼がアーティストであることに異を唱える人はいないでしょう。

**固**執した考え方や、表現方法を統一させたりしない、文脈などに捉われない自由な作品を制作していったからこそ「ピカソはピカソになり得た」のです。私は批評家とは違い、アート製作者は「文脈」などにとらわれず「技法」にもこだわりを持たずに、「言葉にできない、何らかの色と形」を表現することができれば良いと考えています。

**た**だ、ピカソは営業の才能に長けていたそうで、その時には巧みな言葉を操ったり、絵を出すタイミングを調整したりしたそうです。アーティストとしては、とても見習いたいところです。営業の才能は残念ながら私にはないようです(笑)。

**近**代美術の作家を見ると、やはり題材はその都度違い、さまざまな様式を用いて描いている作品が多くあります。それは画家達が常にアバンギャルドであり、他に先んじて「未知の領域を切り開くこと」を重んじていたからに違いありません。



## シリーズ 四季

**右**の四つの作品の中で、最初に描いた作品は左から3番目のHitomiのヒット曲「Samrai-Drive」からインスパイアされて描きました。

**私**の場合は音楽からインスパイアされることが多く、Jazzマンを描くとき、例えばマイルス・デイビスを描いている間はずっと気に入ったアルバムをループで流しています。タイトルもそのアルバムの一曲から借りることもあります。

**描**く時には歌詞のある曲は日本語だと言葉の内容がそのまま頭に入ってきってしまうので、楽曲を選択することが多く、歌詞も英語のものを使うのですが、なぜかこの曲が心にフックし、一気に描きました。その後、耳に入った元ちとせの「ワダツミの木」は荒々しい海を背景に元ちとせが歌っている姿が見えてきたのでそのままの形で描いています。制作のための脈絡も何もありません。そして二つの作品がお互いに必要な要素を呼び込み、それぞれの作品が自然にリンクしあってシリーズ化させたかのように生まれ、育った結果、ご覧頂いている、左から春の海、夏の月、秋の装い、冬の時代としてひとつのまとまった作品が組み上がりました。

**作**品は横幅 800mm 程度の和紙に出力し、別の和紙に筆で春夏と秋冬の文字を2本にわけて描き、3本づつをそれぞれ軸のように立て、中に光を入れて行灯にして大崎のO美術館に展示しました。どの作品も描き方の微妙な違いを見て取れると思いますが、スタイルにこだわることなく描いた結果がたまたま組み合わせたのです。

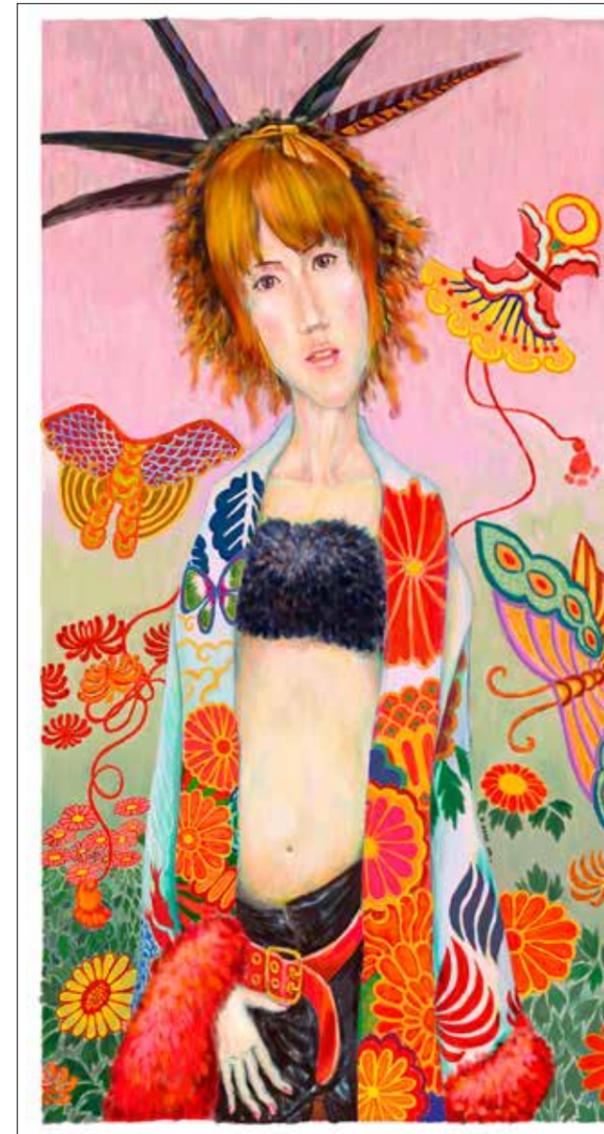
**文**脈もなく、脈絡もなく、企画すらない中で自然に出来上がったシリーズです。組み合わせに違和感を感じますか？



ワダツミの木



幻の月



Samrai-Drive



冬のさなとりうむ

## 現代美術 (コンテンポラリーアート) とは

**現代美術**とは、20世紀後半の第二次世界大戦後の1950年以降から21世紀までの美術を指します。また「現代社会の情勢や問題を反映し、批評性をもって表現して、鑑賞者に問題提起をする」ことが重要だと言われています。コンテンポラリーアートの作家たちは、そんなに社会に向かい合い作品制作しているのでしょうか。私は、にわかには信じられませんけれど。しかし、個人的には自分の作品に講釈を垂れるのは好きです。それが人の心を動かすのかどうかは別として、それは言葉にすることで自分の制作に対する姿勢や考え方を、自分自身を納得させている、と言う部分が大いなのです。ひとつの作品の中に自分が考えるメッセージを閉じ込めていきたいと言う思いと、制作中に考えのぶれを無くし、芯を通すためには言葉も必要なのです。

**ひ**と世代前になるのでしょうか、コンセプト中心のモダンアートが話題に上ることが多くありました。このコンセプトアートとは自分の考え方、概念や構想を他者に伝えようとするときに、絵画や彫刻、インスタレーションとして作品として具現化するものです。今でもコンセプトの強い作品は多く存在しますし、私も学生の展示に混ざるときは、あえてコンセプトを中心にした作品を作り、短いテキストで制作コンセプトをキャプションに掲示します。それもほとんど誰も読まないのはわかっていますが、少し説明してみると「なるほど」と思ってくれます。私が第三者の目を持ち、説明の前と後のギャップ感をみていると、その変化はとても楽しめるのです。人の頭の中にある概念や構想、いわゆる「コンセプト」を他者に伝えようとするとき、絵の力は強力に作用しますが、言葉に置き換えるのが理解しやすく手っ取り早いのです。だからと言って、それで全ての説明がつくかという、そうでは

ありません。美術作品は言葉に置き換える事ができない部分が一番大切で、見る人のイメージが一番大切なのです。

**コ**ンセプトアートは私の中ではモダンアートとコンテンポラリーアートの中間に位置しているように感じます。その一例となるか分かりませんが、作品を好む好まないは別として、18ページに私の作品を解説してみましたので、お読みください。なんとなくわかったような気になるかもしれません。何かを考えるきっかけになれば、それで良いと思います。

**コ**ンテンポラリーアートはモダンアートと対比させて考えられることも多いようです。モダンアートは普遍的な美の追求を目指していて、それがわかる教養を持った人を鑑賞者としています。まあ、少々鼻の高い作品だったのでしょうか。対してコンテンポラリーアートは、作品が示す意味を重要視しますが、鑑賞者が自由に解釈するように仕向けます。モダンアートはコンセプトそのものを絵画として具現化しようとしていましたが、コンテンポラリーアートは制作コンセプトはあってもそれを前に出す必要は無いものなのです。作家のコンセプトは文字にならない言葉として、どこかに存在すれば良いのです。

**作**品を見るときは直感で良いので、なんとなく気に入った作品があれば覚えておき、その中の一点を誰かに伝えようとして、頭の中に言葉を積み上げていくと良いと思います。他の人がどう考えようが、見る人が自分で解釈することを求められているのですから、真実である事も、間違いである事もないのです。

**感**覚的に見るとは言っても「感覚に自信がない」と言う人もいます。感覚は経験を積み重ねる事で付いてきます、言葉にできれば自信も付き、新しい見え方も発見できるでしょう。

知人友人たちを動物に見立てて描いたシリーズ「危険な仲間達」



### 「人參(私)」のいる風景(五蘊)

代表をさせてもらっている HAT. (ハット) と言うアート&デザインの展示団体が、デジタルハリウッド大学内で開催した「人參展」の私の作品を紹介します。

展示全体のコンセプト「一袋分の世界」という裏テーマの元、作者自身が自分の世界観を袋に詰め込む展示方法をとることで、詰め放題という要素を成り立たせる。と言う事でした。

ここで私の作った作品『「人參(私)」のいる風景(五蘊)』と言うタイトルの作品を紹介します。コンセプトとして私が提示したテキストをベースに、あらためて書いてみました。

.....2022年09月22日

『人間は自分自身や魂というものが存在すると思っているが、実際に「私」が存在するのは体、感覚、イメージ、感情、思考(五蘊)という、一連の知覚と反応を構成する集合体であり、そのどれもが「私」ではないし「私」に属するものでもない。それらの他に「私」があるわけでもないのだから、結局どこにも「私」などというものは存在しない。無の空間にあるビニールの中に詰め込まれた「人參」は「私」であるが、その存在を認めるのは「私」ではない。』何を言っているのか分からないと言う方もいると思います。これは般若心経の一節の意識を直球表現した真摯な作品なのです。

真っ黒な 900mm 四方のスペースを全宇宙に見立て、その中にある「袋をかぶった人參」により「無の空間の中に存在する”透明な皮膜をまとった私自身”を表現」し、人參が不条理な世界感を演出しています。制作にあたっては16ページに書いた「現代美術とは」の中にある「現代社会の情勢や問題を反映し、批評性をもって表現し、鑑賞者に問題提起を…」と同じ考えで成り立たせています。それは「鑑賞者に自分の



考えを押し付けて」いるように感じられるかと思いますが。しかし鑑賞者は作者の考えにこだわる必要はなく、自分の感じ方で自由に解釈してもらえば良いのです。

実は視覚的に分かりやすい人參を中心に置くことで、考え方が複雑に感じられるようにしています。分かりやすいと言うことは、見る人が「わかった気になってしまう」と同義で、裏側にある意味を作って見る事になります。一度目を閉じて、、、次に目が開いた時に見えてくるもの、頭に浮かんだものを「信じて、感じて」下さい。

### 自由に生きるためのアート

私が考えるコンテンポラリーアートは「文脈」を一切取り払い、アーティストが今考えていること、今出来ることで満たされた作品です。

ジェフ・クーンズやKAWZの作品を見て下さい。ジェフ・クーンズのステンレスパルーンは誰もが見てすぐわかる表現力があり、鑑賞者はその裏側を探る頭を働かせることは必要ありません。この作品を初めて見た時には「カッコいいなあ！」と言う言葉が出てくると思います。



清澄白河サクラ・ギャラリー  
柿落とし展示



私は「これを玄関に置いて来宅したお客をビックリさせたい!」と考えます。物理的には玄関に入りませんが。批評家に言わせるとジェフ・クーンズのバルーン作品は「アメリカの大衆性やキッチュ性をよく表現している」と言う表現でした。作品を見てすごいと思ったら、そんなものどうでも良いのでは?。違いますか。

クーンズの作品は目がパッテンになったキャラクター達です。この困ったような顔を見て、自然に愛おしくなりませんか。このように画題の本質を新鮮な目で見て、実験的な作品群を自分の体で感じてみる事が大事ではないでしょうか。

さらにこの作家達を深く知りたいときはネット検索して下さい。ジェフ・クーンズ作品が今に至った裏側にあるものは、見る側が感じる文脈ではなく、説明のつかない作家自身の文脈なのです。

日本文化を大切にすること

それにしても現代アートが歴史を振り返るのは欧米の文化ばかりだと思いませんか。日本は日本独自の文化をたどり欧米の文化も取り入れつつ今の時代があるのです。私個人も戦後のアメリカ美術を見ていることがほとんどでしたが、日本人であることを忘れてはいけないと思い始めています。

1867年日本の浮世絵が海を渡りパリ万博で披露され、ゴッホやモネに大きな影響を与えたことは多くの人が知っています。デザインの世界でもアールヌーボの植物表現には日本の影響が大きく関わったことが読み取れます。そんな素晴らしいルーツを持った日本人アーティスト達から、ゴッホやモネに代わるような新しい表現を見つけ、形にしていくアーティストが出てきたら、どんなに良いかと思っています。もちろん私自身の作品達にもそのような夢を見せて創りあげられればと思っています。

現代の日本文化は、世界中に漫画やゲームが影響を与えています。形を変えて絵画の中でも漫画の線を活かしたキャラクターなどの新しい表現が出てきていますが、今見えている作品群は果たして未来に繋がるゴッホのような存在になり得るのでしょうか。私自身も未来は見えませんので、どうなっていくのかは楽しみに待つしかないでしょう。作家としては自分の作品を未来に繋げたいと考えています。



私の個展開催の考え方

**私**は世界の絵画の中で考えると「印象派」が好きです。その表現方法の広がり私の心を震わせます。私のルーツのひとつではあると思っています、だからと言ってその表現技術に執着することはありません。

**制**作を始めてから今までを通して、私のコンセプトは「世界平和」です。しかし、それを能天気な唱えながら作品制作していても世界は平和にならないことは理解しています。技術的な表現方法は？と言うと「私が見た全ての画家から影響を受けている」としか言いようがありません。私の作品の文脈はこれしかありません。

**個**展では、とはいえ作品に何の解説も無く、文脈も見えない、ただ絵を並べるだけの展示は、せっかく観てきた人に不親切だと考えています。そこで毎回展示テーマを練り上げ、それに沿って作品制作して展示します。中の1日はパーティーを行います。パーティー目当てで来られる方も大歓迎です。元々、作品は作る側の思惑だけではなく、観る人の思いが重なった時に作品は完成すると考えています。

**映**画を観るとき、友人と同時に映画館に入っても、全く同じ感想を持つ事はありませんよね。それぞれが、それぞれの人生を歩み、蓄積された経験を基に感覚で映画を鑑賞する。その感覚の全てが同じである必要はありません。自分が読んだ小説が映画になったときに主人公に違和感を感じることもあると思います。自分の脳が処理した人物像と監督が思い描く人物像が同じにはなり得ないからです。旅するときに旅程の全てを構築しても、途中でのハプニングがいちばん良い思い出になったことはありませんか。そんな旅を私の個展の中で体験し、作り上げていただければと考えています。



四つの作品全て同じ人物像です

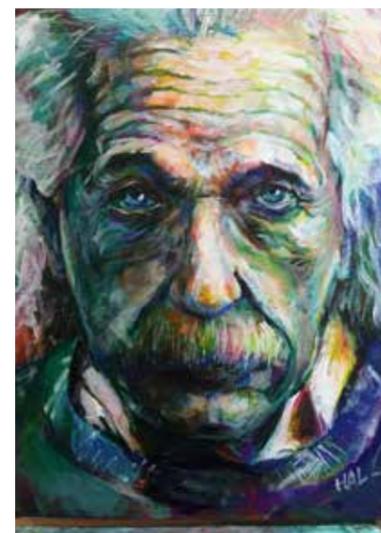
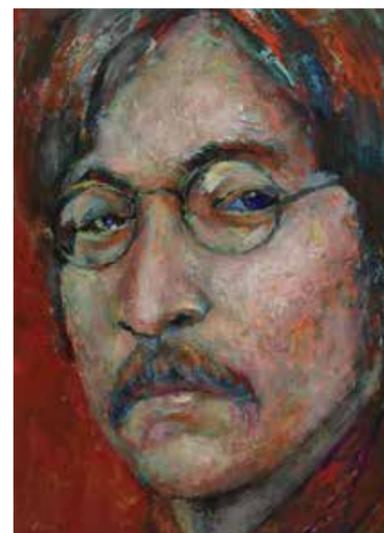
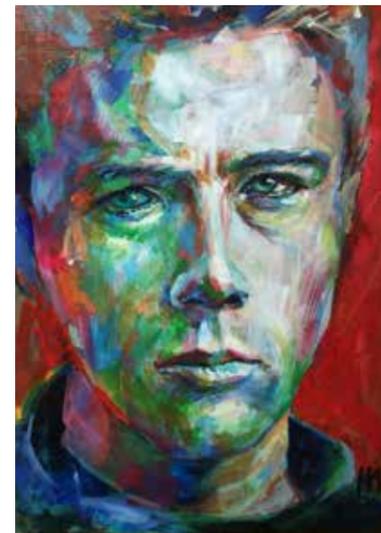
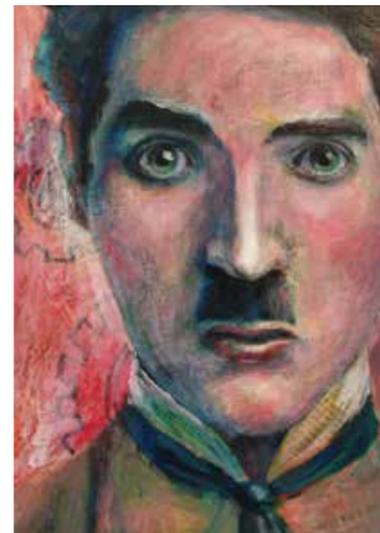
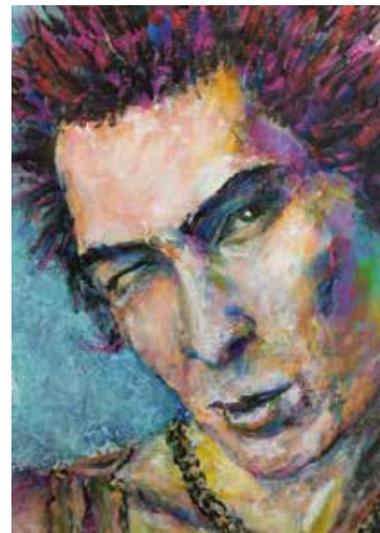
世界を変えた男達

この作品群は音楽やアート、文化にさまざまな影響を与えたと思われる人物の表情を描いています。今でも続けて描きたいと思っています。同時期に描いているので、似たような作風が多いのですが、改めて描くと全く違う形の作品が出来るでしょう。

過去、国立界限に長く住んだ事があり、今でも好きな町です。この時は金属造形家として2軒長屋の両方を借りていました。リキ丸と過ごしたのもこの時期で、ここでの思い出が沢山あります。国立から居を変えて、何年か後にファッション界にいる妹が「ギャラリー展示をするけれど、2階が空いているから展示しない？」と言ってくれた事がきっかけで描きはじめました。懐かしい国立で、懐かしい仲間にも会う事ができました。

肖像が好きでさまざまな人物を描いていますが、ここでは比較的リアルに絵の元になるモデルがすぐ分かるように描いています。当然、数枚の写真を探してから描きはじめますが、私の悪い癖で全体よりも細かいところに目がいってしまい、全体が崩れて来てしまいがちなところがあります。この作品にもそれが表れてしまっています。でも、それはそれとしてフィックス出来るのが自分でも不思議です。同じ人物をあらためて描くと全く違う絵になるでしょう。この時の絵の具の厚み感はこの時だけのものなので大切にしています。

中に一点だけこの時に描いたものではない物が混ざっていますが、どれなのか分かりますか。作品の下に名前を入れようと思ったのですが、あえて入れずにしていますので、ご覧になりながら人物を特定してみてください。それは、この本の中だけのお遊びです。答えは直接聞いてください。



ギャラリー Yellow Toes 柿落とし展示

デジタル中心に制作していた時代の友人がギャラリーを開きたいと言うので、遊びに行くとオープン時に私の作品を展示してほしいと生まれ、小さなギャラリーのわりに、大きな作品も展示できそうなので、喜んで引き受けさせてもらう。

柿落としまでには少し時間に余裕があったので、会場内を所狭しと埋め尽くして見ようと言う事が全体の考え方だった。身内が色々お手伝いしている中で、パーティー時にはロバート・ハリスさんがトークに参加してくれると言うので、いきなり「旅」と言うキーワードが浮かんで来た。

ロバートさんは地球上あちこちを旅し、一時はオーストラリアに生活の場を作り新しい形の書店を営み、現在は日本に落ち着いている。いわゆる「旅の名人」だ。

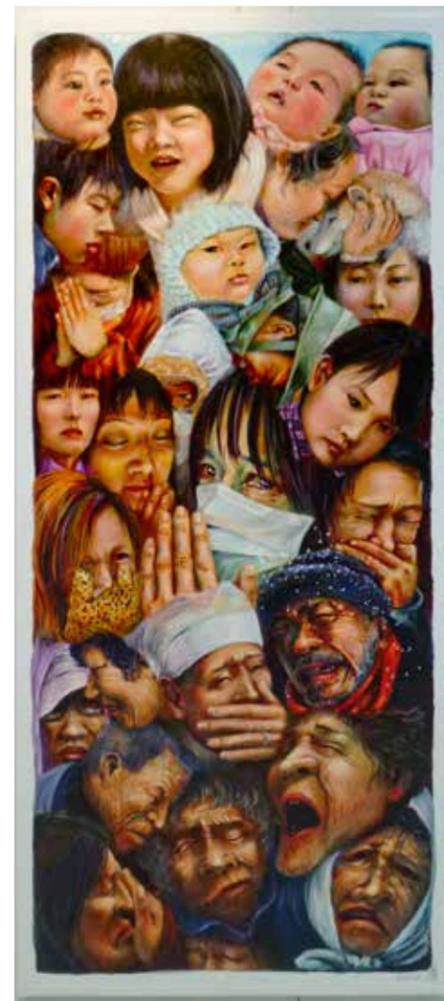
私とはいえば、アメリカ、中国、韓国、オーストリアくらいにしか行っておらず物理的な「旅」はテーマに出来ないが、生まれ落ちてから絵を描く旅をずっと続けているわけで、「旅」を描くとして「2015「旅」-portray-」と言うタイトルで過去のデジタル作品から現在のアナログ作品を並べてみる事にした。私の場合は過去と現在が入れ替わっているかのような作品制作の流れだが、それも逆に自分が面白いと思えたので、感覚的に今やるべき事だと感じられた。

幕を開けてみると、昔の友達から現在に至る友達、そして噂を聞きつけて来場してくれる初めての人たちが、仲間の応援もあり本当に多く訪れてくれ、人と人との出会いの「旅」としても、私には大満足できる個展開催となった。

人と人が繋がれば、世界はきっと平和になるんだよ。全世界の人々は今は見えない糸で繋がっているんだよ。



この個展での来場者はパーティーオープニングだけで200人以上。上の絵は会場内で行ったライブペイントの作品。私が描いていた時にそばにいたオーナーの子供にペイントブラシを渡すと、一緒になって描きはじめた。次第にその友達も混ざり会い、合同ライブペイントとして一緒に仕上げた作品。描き終えた子供たちは外にテーブルを出し、自分達で描いた絵をその場で販売し始めた。



上の作品は2011年東日本大震災の被災者報道写真をもとに描いた作品。Faces27(face to entry heaven)

◁左の画像はギャラリーの前で絵を描き、販売を始めたアメリカンスクールの子供達。

## エンタメ特化型メディア インタビュー記事

### Artist HAL\_『6SENSE Ex』展インタビュー 音楽から色彩を紡だす“色聴”的な感覚とは！

油彩タッチのデジタル絵画を中心に、さまざまな表現で作品を手がける Artist HAL\_。1999 年から 2017 年までに制作された代表作を集めた展覧会『6SENSE Ex』が、渋谷・eplus LIVING ROOM CAFÉ&DINING にて、2017 年 5 月 14 日（日）まで開催中だ。幼い頃からジャズに触れて育ち、現在も「作品創造はつねに音楽の中にある」と語る HAL\_。彼は、音楽からどのようにして色彩の片鱗を拾い上げ、アートとして紡ぎ出しているのだろうか？ 制作背景を紐解いていこう。

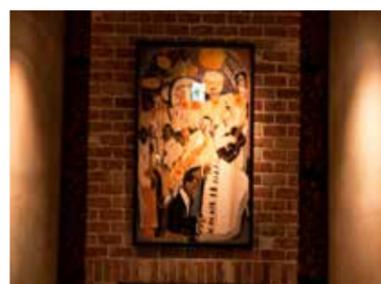
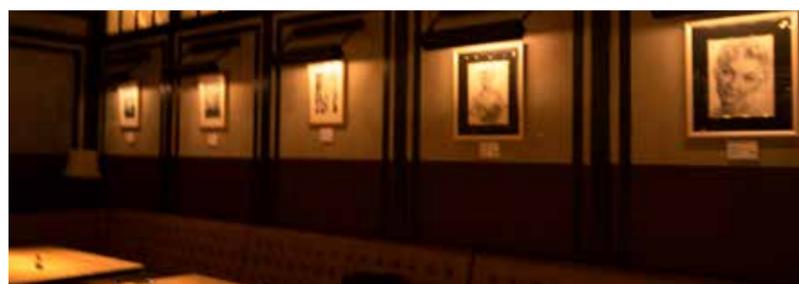
—HAL\_さんは、いつ頃からアートの道を志すようになったのでしょうか？

絵を描くこと自体は幼い頃から好きでした。デジタルに関しては、小中学生の時に「コンピューターで何か絵が描けるようだ」と知って、面白そうだなって思ったのがきっかけです。でも、当時はまだスーパーコンピューターのような大きなものだったので、実際にパーソナルコンピューターを手にしたのは 22～23 歳の頃でした。

—デザイン学校にも通われていたそうですが、卒業後はどのようなお仕事？

学生の中から、金属造形の仕事に携わっていたんです。その縁もあって卒業後も造形の仕事に就き、その後独立しました。現在のような自己表現を主体にするというよりも、手で何かを作るということ自体が好きだったんですね。

全文は次ページの QR でお読みください→



6SENSE Ex の開催はイープラスが手掛ける渋谷最大級のカフェ、リビングルームカフェ & ダイニングです。300 席の豊富な席種に加え、個室もあります。昼はコーヒーやランチを、夜は NY スタイルをゆったり楽しめます。

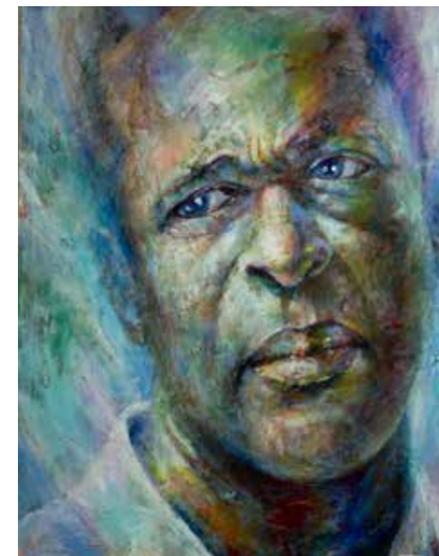
作品は LivingRoom 店内にどれだけ入るのかわからなかったので、とりあえず適当に作品を持ち込みましたが、大きい作品ばかりだったので展示しきれない作品はバックヤードに置くことになってしまいました。

展示期間、夜の一日は「ボヘミアンナイト」を開催しました。ボヘミアンナイトは作曲家の上畑正和氏、詩の朗読ロバートハリス氏、MC に弓月ひろみ氏の協力の元開催されるデジタルとアナログペインの二つのライブペイントです。だいたい打ち合わせもなく、いきなり始まりますが、いつもどおりフラットな気持ちでキャンバスをの前に立つ事ができました。大きなキャンバスを用意しましたが、大きいのは気持ちが良い。一度ビルの外壁全体に描いてみたいと思いつつ楽しんでいました。

ステージ前の観客は LivingRoom の酒と料理に舌鼓を打ちながら賑やかに音楽を聴き、ペイントを見て楽しんでいる様子でした。LivingRoom は料理もとても美味しく、休憩時には私も観客と一緒に楽しませて頂きました。



⇨ 6 SENSE Ex インタビュー記事





ハウスクエア美術館 -Room -  
ポスター 全文

デジタルアナログを自由に操る「色の魔術師」Artist HAL\_のアートの軌跡を部屋ごとにご観覧下さい。

- Room -

■ Artist HAL\_：1952 年生まれ：什器デザイナー、ファンシーグッズプロデューサー、ファッションデザイナー、金属造形家として活躍後、コンピューターでの立体制作から始まり、Painter によるデジタル版画世界を構築したアーティスト。デジタル機器マーケティング



ング顧問、デジタル関連書籍テクニカルライター、絵本作家、デジタルハリウッド大学特任教授、横浜在住アーティスト。デジタルグラフィックによる多数の出版物を制作、広告デザインプロデュース、展示イベントプロデュース、講演会、等々をこなす。子供向けのワークショップまで幅広い活動をしている。v 作品はデジタルを感じさせない自然な表現手法を使い「ジャズマン」「バストアップの肖像画」「娘ギャル」「擬人化した犬達」など、油彩タッチのデジタル版画を制作。Corel Painter mastor、版画作家・絵本作家。その傍ら「ArtRage で絵を描こう」「アイデアスケッチの教科書」「Shade 3D ガイドブック」初め 38 冊を出版。3D ステレオグラムに造詣が深く、作品は大手自動車メーカーの商業アートにも使用される。「目に効く 3D 絵本」は 30 万部以上発行。さまざまなメディアを利用したプリント、ペイント、コラージュなどの作品を制作する肖像画家。作り手も観客も文句なく楽しめる iPhone ケース展をディレクションし、企業や参加作家、観客、それぞれの立場を繋ぐ役目としてのアートディレクターを楽しむ。

床材リノリウムをイギリスから輸入し、手彫り・手刷りの黒一色の表現を追求している。リノカットプリント制作の様子は展示場内の工房でご覧頂けます。

リノカットワークショップ  
9/19,26(13:00 ~ 16:00)



展示はデジタルとアナログを融合させた独自の表現手法で「エスタンプアメリカ展」「愛犬達の肖像版画展」「平成浮世娘絵展」「Jazz 香る・版画展」「Artist HAL\_ 個展：旅-portray-」「Artist HAL\_ の 6SENSE EX」など、色彩感あふれる世界を発表。現代美術家協会新人賞、現展奨励賞、多摩現展賞、等々受賞。近年は環境を考え胡桃やコルクを亜麻仁油で固めた自然由来の



XHIBITION - IMAGINE HAL\_ & YONOA

～コロナの中で愛を叫ぶ～

コロナ禍において、アーティストに何が出来るのかを作品の中で考え、見る人々に「命」と「愛」を伝える二人のアーティスト「HAL\_&YONOA」のコラボレーション。 2021/2/18～28

IMAGINE「ART BOOK」前文

コロナの中で愛を叫ぶ！

世界中で何千万回聞かれているだろうか。2001年9月11日、大きな悲劇の中でジョンレノンのIMAGINEの歌詞に込められた精神は多くの心に静かに宿り、世界中に愛を訴えた。

2021年2月18日、その「IMAGINE」をテーマに『HAL\_ & YONOA』の二人のアーティストがユニットとして始動する。世代の全く違う二人が考えるIMAGINEはコロナ禍でどのように展開するのか、時間経過による作品が変化する姿をネット配信を中心に、コロナ禍で疲れ切った人々に愛を伝える。

IMAGINE 展示コンセプト

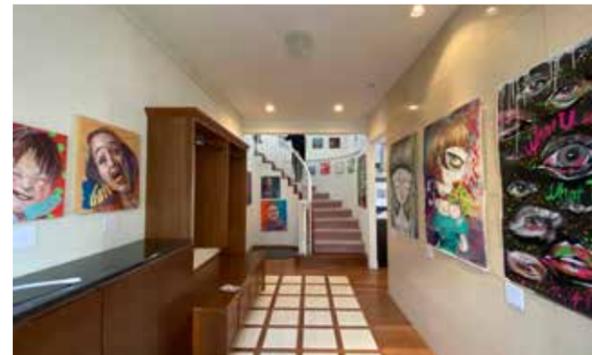
Artist HAL\_ :「笑う」

笑いには様々な形がある。どのような笑いも全て受け入れる事が出来る。絵画を見てみると意外に作品中に笑う人の絵が少ないことに気が付いた。私は人の笑う姿を見る事が好きだ。

YONOA :「命」

100人いたら、100通りの見え方があっていいじゃない。誰もがみんな自分の色眼鏡で見ている景色。そんな中で一体、どうやって「正しい」を見出すのだろう？

この世界にあるものは、この青い空と海、空気と、この命、間違っ



文化芸術振興会 : <https://www.bunka.go.jp/>  
 IMAGINE は文化芸術振興会の補助金により運営されました。

・IMAGINE 2 について

IMAGINE1,2,3と続いて開催された今回の展示は、場所や空間と時間、図録を含んだ全体を作品として体験するインスタレーションです。今回の作品は一点毎に見てもらおうと言う事を望んでいるのではなく、コロナ禍で、皆が「愛」をイマジネーションする力を働かせる事により完結します。



YONOA と HAL\_ の二人で行った美術館内ライブペイント (ライブ配信)



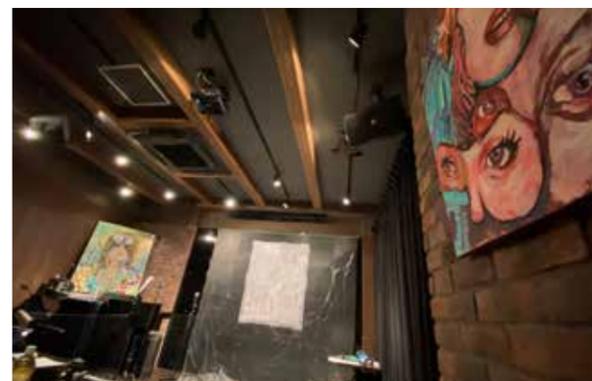


IMAGINE 3

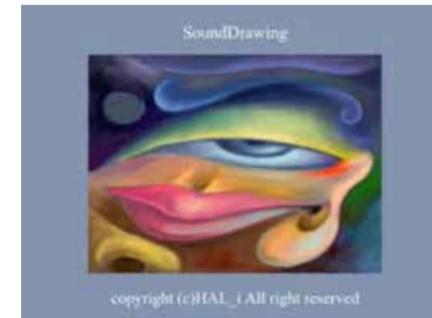
2021/4 WonderWall-Yokohama

日吉にあるライブハウス Wonder Wall 横浜でのライブイベント。

YONOA のボーカルと HAL\_ のライブペイントにダンサーとして加わった日居る子氏、ピアノにトニー・サググスが加わる。ライブペイントはステージ上の壁に取まらず、踊る日居る子氏の身体にまで繰り広げられた。



01 夢と夢の狭間



04kioaru



02kunuti



05autyotu



03 ひせいん



06 ほそていぎ

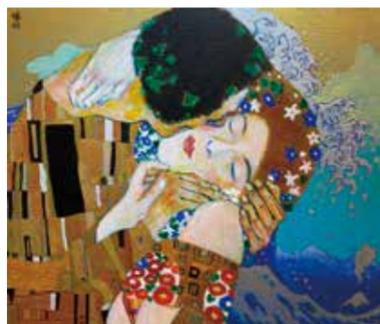
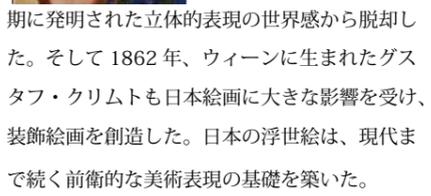


ジャコメッティの肖像  
パリの朝食

Sound Drawing

多くの絵の題材として音楽を使う事が多いのですが、聞くだけではなく、演奏したいとか、作ってみたいと言う欲求も大きくあります。Mac には GarageBand と言う優れたアプリがあるので、それで遊んでみました。

絵を描くためのものなので、ループさせて聴きながら描いた道筋も映像化しています。15年くらい前の作品なので、映像も小さいく軽いので是非聞いてください。中の一曲は AppleStor のコンテストで入賞し、賞品の iPod を頂きました。



## 食と美術と音楽と

Art Gallery and Workshop Yellow Toes



1867年、第2回パリ万博で欧州の画家達が出会った『北斎漫画』。その時、ゴッホやセザンヌなどの画家達は日本の浮世絵に感銘し、ルネサンス期に発明された立体的表現の世界感から脱却した。そして1862年、ウィーンに生まれたグスタフ・クリムトも日本絵画に大きな影響を受け、装飾絵画を創造した。日本の浮世絵は、現代まで続く前衛的な美術表現の基礎を築いた。

## アート包装紙の制作

2021年、コロナ禍に翻弄される人々の心に必要なこと。それは、今までは当たり前だった古い考え方から、新しい世界への脱却。ArtistHAL\_が描き続ける作品は世界にある全ての物を含有した「ちゃんこ」の様なものだ。HAL\_自身、自分の描き続けている物は「鍋料理」であり、世界にある総てを取り入れ、包み込み、新しい世界感を創造したいと言う。今回の展示も「ちゃんこ」であり、中にあるのは浮世絵の影響を受けたグスタフ・クリムトの金箔を用いた煌びやかな世界と、西洋絵画の遠近法を取り入れた画狂老人卍北斎、華美と汚濁両面を持つ国芳、そして広重との融合だ。

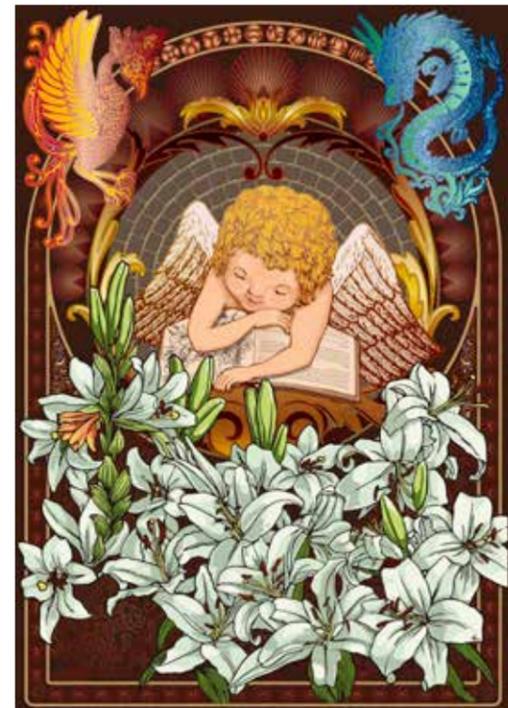
今展示のHAL\_作品は、数年通い続けたオーストリアのウィーン分離派会館地下に永久保存されたクリムトの「ペートーベン・フリーズ」を見た時から始まる。この中ではペートーベンが生涯求めたテーマ「苦悩を突き抜け歓喜に至れ」が展開され、地下室の三壁面それぞれに「幸福への憧れ」「敵対する力」「歓喜の歌」が表現されている。

コロナ禍以前より、世界は「豊かさを夢見」、履き違えた「幸福に憧れ」「敵対する力」に打たれ死のうとしている。しかし、最後には真の幸福を手に入れ「歓喜の歌」を、共に歌い合う事が出来ると、クリムトと浮世絵の姿を借りた本シリーズの中で語りかける。

展示は2021年に描かれたHAL\_の新作と、ウィーンの現代音楽と、展示の際に毎回披露されるオリジナルの食を楽しみながら鑑賞出来る「食と美術と音楽と」だ。そしてHAL\_が数年前から研究し始めた版画「リノカット・ワークショップ」を交えた開催となった。

Admission ticket(Party) ¥2000 , ticket ¥500+chip (with wine)  
 12月3日 (open)-12月4日 sut(party)-12月5日 sun(WS)  
 12月6日 (Closed)  
 12月7日 (open)-12月8日 (open)  
 12月9日 (Closed)  
 12月10日 -12月11日 sun(WS)

## 上海葛屋書店



2021年 TSUTAYA で使用したクリスマス用包装紙が中国では人気が無かったという事で、年明け使用するためのアート包装紙制作の依頼が来た。しかし、その後のコロナ禍で、日の目を見なかった包装紙「森羅万象」。右側の大きな絵のどこを切っても心に残るデザインを心がけ、コレクションアイテムとして使用されるはずだった。右側は森羅万象包装紙を見た TSUTAYA 出店の方に依頼されたショッピングバッグの企画書と背景に引いたピンクの紗綾形の上に乗せる水彩画。

### 「○であそぶあーと」 in ArTone

前半「iPhone ケース展」入場無料  
後半「○であそぶあーと」入場料：投げ銭  
Artist HAL\_ のアート活動の軌跡を追う展示と未来に繋げるドローイングワークショップ

【開催スケジュール】  
11月13日(日)・11月14日(月)・11月15日(火)・11月16日(水)  
各日 10:00 OPEN ~ 18:00 CLOSE 11月16日 CLOSE 17:00

【イベントスケジュール】  
11月12日(土) 11月12日(土) 19:00 ~ 20:30  
プレオープン&トークショー (有料 :1500 円)  
オープンに向けて内覧会を兼ねたパーティーと、Artist HAL\_ のトークショー。

11月13日(日)・14日(月) 両日 14:00 ~ 15:00  
まる○であそぶライブドローイング：鉛筆一本で描くライブドローイング。身体能力を形にする！人間の行動の軌跡を紙の上に焼き付ける表現を発表します。リアルタイムでぜひご覧ください。

11月15日(火) 14:00 ~ 16:00  
まる○でドローイングワークショップ：当日会場にて受付  
参加費：1000 円、定員：10 名  
鉛筆一本で身体能力を紙に叩きつける作品制作を、一緒に試してみませんか？

### テーマにある○とは？

今回の展示の中は「まる」をテーマにしました。○そのものは一つの形でしかありません、しかし○は正円だけではなく、制作時に様々な表現を与えることができます。機械で描く○はとても素敵です。しかし多少歪んでいても人は○としてとらえます。その○の歪みが見る感じられたほうが心を捉えることもあります。また、複数の○がキャンバスに広がることで、見え方も変わってきます。壮大な曼荼羅図も○により成り立ちます。輪廻転生と言う言葉も○のイメージがあります。身の回りにはたくさん○があり、様々なイメージを呼び起こすことができると考えたのです。

### 現代アートを探る旅

展示されている大型作品はアメリカで活躍する、現代アーティスト 10 名から選んで肖像画として仕立てています。作品からインスパイアされ、作家リスペクトしながら、作品中に見える技法を感じ取り、描いた作品群です。私が好きでいる作家はもちろんですが、あまり知らなかったけれど、素敵に思えた作家の作風を感じ取り、肖像画に取り入れています。そうする事で、言葉に置き換えることができない、さまざまな作家の作品の裏側を探ろうとしたのです。こればかりは「見ているだけでは知ることはできない」と考えたからです。

描く時には作家の作品を検索して画風を真似するだけではなく、文字にできない感覚を私なりに見つけています。

Youtube 上に映像のある画家もいます。その映像を見て、立ち振る舞いや仕草から作家の内面を感じとります。また Wikipedia を読み、どのような人生を歩んできたのかを考え、そこからインスパイアされる言葉にならない何かを、私なりに感じ取り、私なりの表現にしています。10 人の作家を巡る旅を、作品キャプションにある QR コードを読み取り、時間をかけゆっくり、自分なりの解釈を加えながら、アートの旅を楽しんでください。作品どうしを比較しながら、あなたが何かを感じることを探して、展示会場をぐるぐる回りながら見ていただくと嬉しいです。2 点ある私のオリジナル作品は、さまざまな作家から感じ取った感覚や作品からインスパイアされて表現した物です。それはそれとして、作品を見るときはあなたの感覚を一番大切にしてください。

会場で、ぜひシャイな私に話しかけてください。

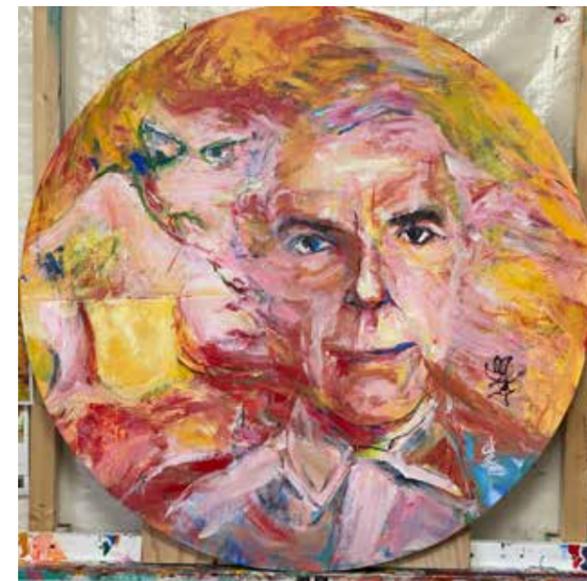


1) 無限 Infinite (Mark Rothko) 1903 - 1970

口実を辞めたときに時間は上手く機能し、色は共鳴し合う。諦めた時に全ては終わる。

Time works well when you quit the excuse, and the colors resonate with each other.

Everything ends when we give up.



2) 真実 Truth (Willem De Kooning) 1904 - 1997

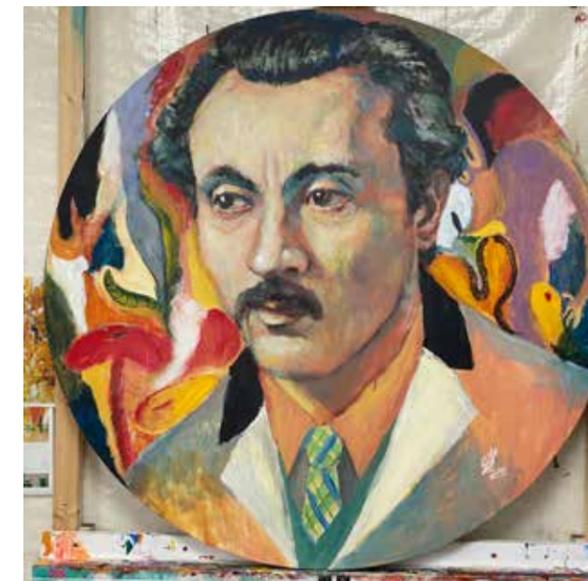
色彩は美しい。美しい色彩は人の心のように普遍だ。嘘偽りや隠し事は人の心を不幸にする。真実は隠そうと思っても隠しようがない。

Colors are beautiful.

Beautiful colors are as universal as human hearts.

Falsehood and concealment make people unhappy.

The truth cannot be hidden even if one wanted to hide it.

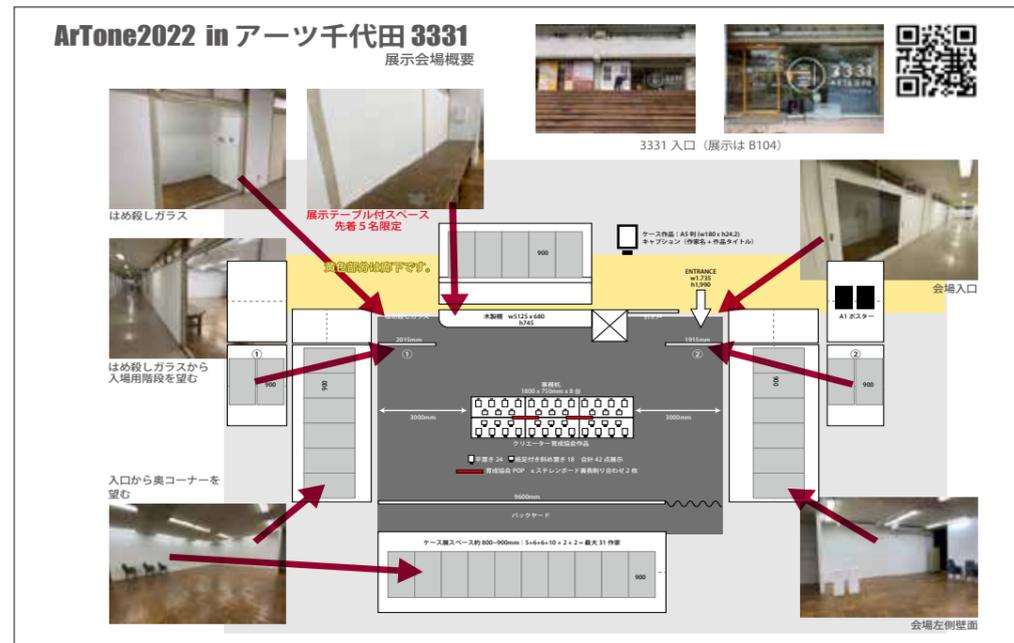


3) 生命体 Organic life form ( Arshile Gorky )1904 - 1948

あなたの考える方向と、私の見ている方向が、常に一致するとは限らない。だからこそ人生は面白いのだ。

The direction you think and the direction I see do not always match.

That's why life is interesting..



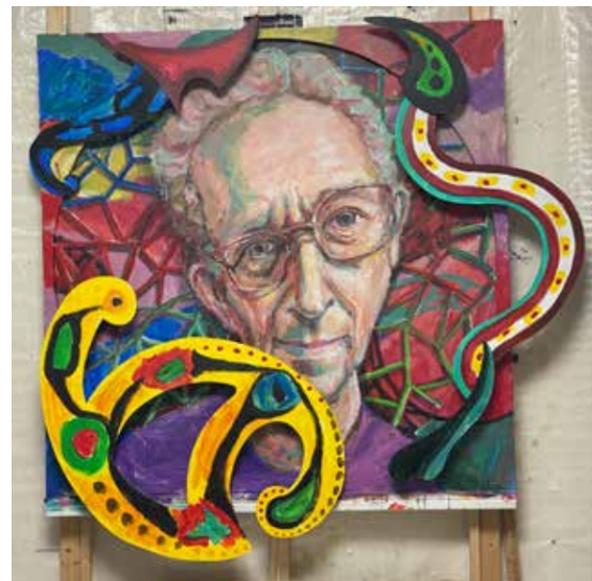


4) 生きる LIVE (Joan Mitchell) 1925 - 1992

私たちは変化する。変化するから生き残る。  
生き残る事ができれば変化できる。

We change. We survive because we change.

If we can survive, we can change.



5) 見えない未来 An invisible future( Frank Stella )1936 -

分解機を作ってテレポーテーションしてみた。

私は現実ではなくなり、意識だけが取り残された。

身体は目的の無いまま異次元を彷徨い続け、決して復元されることは無かった。

I made a disassembly machine and teleported it.

I was no longer real, and only consciousness was left behind.

My body continued to wander aimlessly through other dimensions and it was never restored.



6) 封印された木立の影  
The shadow of the sealed trees ( Georg Baselitz : ゲオルク・バーゼリッツ )1938 -

月明かりが木立の影を地球の上に落とす。

木立が落とした影からは新しい芽吹きがあり、命が始まり死を招く。そして回転する宇宙は柔軟な精神性を生む。

The moonlight casts the shadow of the grove over the earth.

From the shadow cast by the grove sprouts new shoots, life begins, and death comes. And the revolving universe gives birth to a flexible spirituality.



7) 目に見えない世界 An invisible world ( Sean Scully ) 1945 -

祝詞は載にあるが、載は空っぽの器にしかすぎない。

崇めるな。

The norito (celebrant) is in the sai (load), but the sai is only an empty vessel.

Don't worship it.



8) 掲諦 And alone. (HAL\_) 1952 -

言葉より愛を！

戦争より愛を！

世界中の人々が平和に暮らせませすように。

あなたを愛しています。

Love more than words!

Love more than war!

May people all over the world live in peace.

I love you.



9) Love more than war ! (HAL\_) 1952 -

私はあなたと、

どれだけ長い時間を過ごしているのだろう。

これからも永遠に続く時間を生きる。

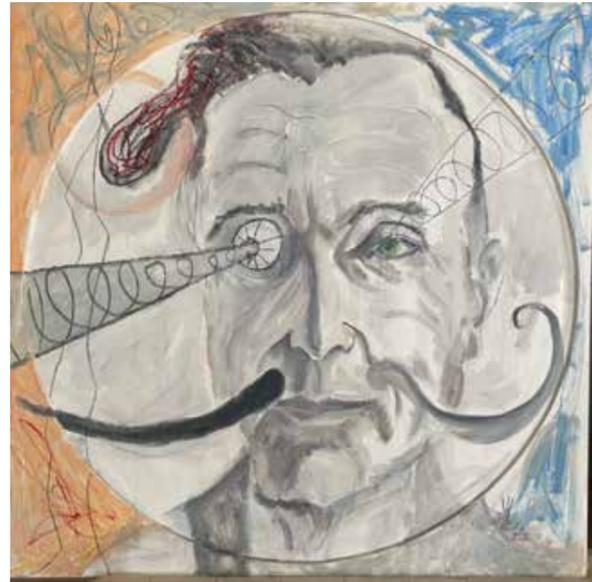
あなたと共に居るために。そして一人で。

I wonder how long I spend with you.

I will cherish the time that will last forever.

To be with you. And alone.





10) 繋がる Connecting (Albert Oehlen) 1954 -

溶け込んでゆく。

あなたのことは何も知らない。

苦しい思いはしたくもないし、させたくも無い。

大きな力は必要ない。

小さく繋がり合えば、それで良い。

It blends in.

I don't know anything about you.

I don't want to suffer or make you feel bad.

We don't need great power.

We just need to connect in a small way, that's fine.



11) 星屑 Stardust (George Condo) 1957-

エメラルドの風が私を呼んでいる。懐かしい響きを持った風が私の胸をはだけさせ、ピンク色の雲の上に私を運ぶ。雲の上から街を覗き込むと、星屑が光っていた。

The emerald wind is calling me. The nostalgic sounding wind flaps my chest and carries me above the pink clouds. When I looked into the city from above the clouds, the stardust was shining.



12) 写経 Sutra copying (Kaith Haring) 1958 - 1990

世界中の人々が安心して平和に暮らせますように。

世界の全ての人々が人生を全うして生きられますように。

全てが無に帰れますように。

May all people of the world live in peace and security.

May all people of the world live their lives to the fullest.

May all return to nothingness.



シリーズ	制作年	作品タイトル	制作素材	サイズ
aiDen	1999	Armstrong	Painter	
aiDen	1999	Bill	Painter	
aiDen	1999	Chick Corea	Painter	
aiDen	1999	hosono	Painter	
aiDen	1999	JeanRene	Painter	
aiDen	1999	JohnSyoko	Painter	
aiDen	1999	monk	Painter	
aiDen	1999	Ellington	Painter	930x1250
aiDen	1999	Sonny's Blues(Sonny rollinsmm)	Painter	930x1400
aiDen	1999	A Clockwork orange	Painter	770x1050
aiDen	1999	fingerprints	Painter	
aiDen	1999	LeonJ Renomm	Painter	770x1049
aiDen	1999	StrangeFruit(Billie Holiday)	Painter	770x1050
aiDen	1999	LadyDay	Painter	
aiDen	1999	The Pathos(Billie Holiday)	Painter	
aiDen	1999	SilentNight	Painter	
aiDen	1999	DoubleFantasy	Painter	
aiDen	1999	その他		

シリーズ	制作年	作品タイトル	制作素材	サイズ
四季	2002	Samurai Drive	和紙	800 x 1200
四季	2002	海神の木	和紙	800 x 1201
四季	2002	虹の月	和紙	800 x 1202
四季	2002	冬のサナトリウム	和紙	800 x 1203

シリーズ	制作年	作品タイトル	制作素材	サイズ
ギャル	1999	girl	Painter	
平成浮世絵絵	2000	nampa	Painter	
平成浮世絵絵	2001	BlueMoon(LadyDay)	Painter	
平成浮世絵絵	2001	cyoberjugu	Painter	
平成浮世絵絵	2001	cocco ♪	Painter	
平成浮世絵絵	2001	atawhitekiniha	Painter	
平成浮世絵絵	2001	tattoo	Painter	
平成浮世絵絵	2001	grico	Painter	
平成浮世絵絵	2001	fuku	Painter	
平成浮世絵絵	2001	gakuseitoka	Painter	
平成浮世絵絵	2001	hyakkin	Painter	
平成浮世絵絵	2001	kuidao	Painter	
平成浮世絵絵	2001	naniyeni_s	Painter	
平成浮世絵絵	2001	nohanashitoka	Painter	
平成浮世絵絵	2001	mentai	Painter	
平成浮世絵絵	2001	udon	Painter	
平成浮世絵絵	2001	ice	Painter	
平成浮世絵絵	2001	igu	Painter	
平成浮世絵絵	2001	pipu	Painter	730x960
平成浮世絵絵	2001	2001_06	Painter	
平成浮世絵絵	2001	coca	Painter	
平成浮世絵絵	2001	fakkin	Painter	
平成浮世絵絵	2001	fuuu	Painter	
平成浮世絵絵	2001	girl_0001	Painter	
平成浮世絵絵	2001	girl_0002	Painter	
平成浮世絵絵	2001	giro	Painter	
平成浮世絵絵	2001	care	Painter	
平成浮世絵絵	2001	pipu	Painter	
平成浮世絵絵	2006	takayaki	Painter	

シリーズ	制作年	作品タイトル	制作素材	サイズ
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2008		painter	
危険な仲間達	2008		painter	
Bohemian	2008		painter	
両極性電解コンデンサ	2013			

シリーズ	制作年	作品タイトル	制作素材	サイズ
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2007		painter	
危険な仲間達	2008		painter	
危険な仲間達	2008		painter	
Bohemian	2008		painter	
両極性電解コンデンサ	2013			

シリーズ	制作年	作品タイトル	制作素材	サイズ
Jazz	1998	Louis	Painter	
Jazz	1999	Charlie	Painter	
Jazz	1999	Miles	Painter	
Jazz	1999	Sarah	Painter	
jazz	1999	Saints Go Marching in	Painter	
jazz	1999	Between The Devil And The Deep Blue Sea(Modern Jazz Quartet)	Painter	
jazz	1999	Take the 'A' Train(Edward Kennedy "Duke" Ellington)	Painter	930x1250
jazz	2000	Basie's Santa	Painter	
jazz	2000	その他aiDen作品		

シリーズ	制作年	作品タイトル	制作素材	サイズ
愛犬達の肖像版画展	1998	toto	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	alicia	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	anjela	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	anjerna	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	anour	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Antoine	painter	
愛犬達の肖像版画展	2006	Audrey	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	baze	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	becca	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	birdie	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	brittany	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	bruno	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	catherine	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Colin	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	dary	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	delphine	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Diana	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Doc	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	ella	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Emmanuel	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	goody	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	halle	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	janet	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Jessica	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Jill	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	kai	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	kelly	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	label	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	liv	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	lucy	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Louy	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Maggie	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	maria	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	mami	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Nicole	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Orlando	painter	
愛犬達の肖像版画展	2005	puchi	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	puchispd	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Rail	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	reiko	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	rena	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	renee	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Robert	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Roxy	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Sandra	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Trinity	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Victoria	painter	
愛犬達の肖像版画展	2003	Yve	painter	
愛犬丸	2008	riki	painter	

シリーズ	制作年	作品タイトル	制作素材	サイズ
世界を変えた男達	2015	John Lennon	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Nic Jagger	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Miles Davis	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Eric Dolphy	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Jimi Hendrix	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Charles Chaplin	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Albert Einstein	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	John Coltrane	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Ron Wood	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Freddie Hubbard	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Keith Jarrett	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Alfred Hitchcock	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Steve Jobs	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	John F Kennedy	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Si Vicious	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	A long as he need me	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Bob Dylan	Acrylic	

シリーズ	制作年	作品タイトル	制作素材	サイズ
世界を変えた男達	2015	Ron Wood	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Freddie Hubbard	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Keith Jarrett	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Alfred Hitchcock	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Steve Jobs	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	John F Kennedy	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Si Vicious	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	A long as he need me	Acrylic	
世界を変えた男達	2015	Bob Dylan	Acrylic	

シリーズ	制作年	作品タイトル	制作素材	サイズ
○であそぶあーと	2022	無限 Trinite (Mark Rothko)	ラワンベニヤ+アクリリクス	860 x 860mm x 15mm
○であそぶあーと	2022	奥美 Infuthi (Willem De Kooning) 1904 - 1997	ラワンベニヤ+アクリリクス	860 x 860mm x 15mm
○であそぶあーと	2022	生命体 Organic life form ( Arshile Gorky 1904 - 1948	ラワンベニヤ+アクリリクス	860 x 860mm x 15mm
○であそぶあーと	2022	生きる LIVE (Joan Mitchell) 1925 - 1992	ラワンベニヤ+アクリリクス	900 x 900mm x 18mm
○であそぶあーと	2022	見えない未来 An invisible future( Frank Stella ) 1936 -	ラワンベニヤ+アクリリクス	900 x 900mm x 18mm
○であそぶあーと	2022	封印された木立の影 The shadow of the sealed trees ( Georg Baselitz / グルック・バゼリッツ) 1928	ラワンベニヤ+アクリリクス	860 x 860mm x 15mm
○であそぶあーと	2022	目に見えない世界 An invisible world ( Sean Scully.) 1945-	ラワンベニヤ+アクリリクス	900 x 900mm x 18mm
○であそぶあーと	2022	英語 And alone. (HAL) 1952 -	ラワンベニヤ+アクリリクス	900 x 900mm x 18mm
○であそぶあーと	2022	Love more than war ! (HAL) 1952 -	ラワンベニヤ+アクリリクス	860 x 860mm x 15mm
○であそぶあーと	2022	繋がる Connecting (Albert Oehlen : アルベルト・オーヘン)	ラワンベニヤ+アクリリクス	900 x 900mm x 18mm
○であそぶあーと	2022	1954 -	ラワンベニヤ+アクリリクス	860 x 860mm x 15mm
○であそぶあーと	2022	星屑Stardust (George Condo) 1957 -	ラワンベニヤ+アクリリクス	860 x 860mm x 15mm
○であそぶあーと	2022	写経 Sutra copying (Kaith Haring) 1958 - 1990	ラワンベニヤ+アクリリクス	900 x 900mm x 18mm
○であそぶあーと	2022	行動は思考 Action is thinking	Acrylic paints	34 x 41.5cm F6
○であそぶあーと	2022	歩く Walk	水彩画	
○であそぶあーと	2022	雲龍 Unryu	水彩画	
○であそぶあーと	2022	練習 private practice	水彩画	
○であそぶあーと	2022	日常519 Evoyday519	水彩画	
○であそぶあーと	2022	その他、水彩画、ドライポイント多数		

シリーズ	制作年	作品タイトル	制作素材	サイズ
Marilyn Monroe	2000	MarilynM	Acrylic	
Marilyn Monroe	2016	monroe	鉛筆画	480x380
Marilyn Monroe	2016	monroe	鉛筆画	480x380
Marilyn Monroe	2016	monroe	鉛筆画	480x380
Marilyn Monroe	2016	monroe	鉛筆画	280x400
Marilyn Monroe	2016	monroe	鉛筆画	280x400
Marilyn Monroe	2016	monroe	鉛筆画	280x400
Marilyn Monroe	2016	monroe	鉛筆画	280x400
Marilyn Monroe	2016	monroe	鉛筆画	280x400
Marilyn Monroe	2016	monroe	鉛筆画	280x400
(笑)	2019	Black suit and red suspenders	Acrylic	F20(606x727mm)
(笑)	2019	Marcela	Acrylic	F50(1167x910mm)
(笑)	2019	Lisa Wagner	Acrylic	F20(606x727mm)
(笑)	2019	islam	Acrylic	F20(606x727mm)
(笑)	2019	cairo	Acrylic	900x1170mm
(笑)	2019	berunhard	Acrylic	540x462mm
(笑)	2020	n.y.	Acrylic	F20(727x606mm)
(笑)	2020	eiko	Acrylic	F10(455x530mm)
(笑)	2021	Priestess	Acrylic	F10(455x530mm)
(笑)	2021			

【HAL\_プロフィール】2022 現在

版画家、デジタルアーティスト、画家  
 ワゴン株式会社：什器デザイナー、中村精巧印刷：ファンシーグッズプロ  
 デューサー、MOW：ファッションデザイナー、PARTNER：ファッションデ  
 ザイナー、アルプス電気：マーケティングアドバイザー、Web デザインアド  
 バイザー、「金属彫刻家として活躍後、コンピューターの中でのデジタル版  
 画の世界を構築、カナダのCOREL 社では Painter Master として正式登録、  
 COREL Japan では Painter エバンジェリストとして認定」、デジタル関係  
 書籍テクニカルライター、AiDen エスタンプヌーメリック作家、e-space 会  
 員、aiDen 会員、韓国 KIDP 客員教授、デジタルハリウッドスクール講師、  
 2014 年～2022 年デジタルハリウッド大学特任教授定年退職、コトブラン  
 ニングアートディレクター、iPhone ケース展アートディレクター、アート &  
 デザイン集団 HAT.(ハット) 代表

●受賞  
 現展新人賞、現展奨励賞、多摩現展賞、等

●プロデュース歴  
 中村精巧印刷：ファンシーグッズ製作プロデュース  
 ファッションメーカーMOW：ファッションデザインプロデュース  
 1998 アルプス電気：MD プリンター・マーケティング顧問  
 2000 野村総合研究所 man@bow サイト デザインプロデュース  
 2002 man@bow 経済が楽しくなる本  
 2001 エスタンプヌーメリック展(大判デジタル出力展) 展示企画、キュレ  
 ション  
 2002 ル・レ・グルマン展(アートと食の祭典) 総合企画  
 2006-.2008 EIZONE ヨコハマ映像文化都市構想 参加  
 2008 Web マガジンポヘミアン  
 2009 softCREAM (ヨコハマ国際映像祭外郭) 実行委員長  
 2010 赤レンガ倉庫 iPhone ケース展サポート  
 2011 銀座東急ハンズ iPhone ケース展サポート  
 2012 ～ 2022 赤レンガ倉庫 iPhone ケース展ディレクター

●EXHIBITION

1994 LIVINA YAMAGIWA  
 1996 WAVE 池袋  
 1996 横須賀 WALK- 銅製オブジェ展  
 DIGITALIMAGE 展(銀座ワシントンアート)  
 DIGITALIMAGE 展(韓国 - 国際デザイントレードセンター)  
 DIGITALIMAGE 展(東京都写真美術館)  
 2001 エスタンプ・ヌーメリック展・企画制作展示(日仏学院)

2002 ルレ・グルマン展・企画制作展示 (VERANDA)  
 2003 平成江戸浮世絵展・企画制作展示 (Pictrico)  
 2005 愛犬達の肖像版画展・個展 (Lei Ohana)  
 2005 愛犬達の肖像版画展 (VERANDA)  
 2006 愛犬達の肖像版画展 (Zaimcafe Annex・)  
 2006 6人のひげおやじ展(パートックギャラリー)  
 2006 DIGITALIMAGE 展(大崎美術館)  
 2007 DIGITALIMAGE 展(大崎美術館)  
 2008 小さな額の中に広がる「大きな守街」展(横浜 ZAIM)  
 2008 Jazz 香る・版画展 (SAKURA GALLERY)  
 2008 『男はつらいよ 寅ストレーション展 '08』  
 2009 softCREAM (横浜赤レンガ倉庫)  
 2009 愛犬達の肖像版画展(保土ヶ谷公園ギャラリー)  
 2009 Jazz 香る版画展 (ZaimCafe ANNEX)  
 2010 クリエーターによるハンドメイドルアー展(横浜赤レンガ倉庫)  
 2010 ～2014 iPhone ケース展(横浜赤レンガ倉庫)  
 2015 Artist HAL\_ 個展：「旅」-portray-(Yellow Toes)  
 2017 Artist HAL\_ の 6SENSE Ex (Living room)  
 2020 - room - (ハウスクエア美術館)  
 2021 IMAGINE [ コロナの中で愛を叫ぶ ] (ハウスクエア美  
 術館)  
 2021 IMAGINE2 [ コロナの中で愛を叫ぶ ] (アースプラザ ・リリスギヤ  
 ラリー)  
 IMAGINE3「コロナの中で愛を叫ぶ」(ワンダーウォールヨコハ  
 マ 日吉)  
 2022 ○まるであそぶあーと「ArtOne 内イベント」(3331 Arts Chiyoda)

●主な出版物  
 ステレオグラム絵本「ユニベルソ」(小学館) 1993/12  
 CD-ROM 作品集「3D STEREOGRAMWORLD」(宏和印刷) 1995/10  
 クリエーターが遊ぶ Web デザイン (秀和システム) 1996/09 ー共著  
 クリエーターが創る Web 素材 (秀和システム) 1996/12 ー共著  
 Painter Super Art Works (SHOEISHA) 1998/06  
 テクスチャー制作技法 (laputa) 2000/04  
 CG バイブル (IDG JAPAN) 2001/10 共著 p2-53  
 経済が楽しくなる本 (日本経済新聞社) 2002/09 イラストレーション  
 目に効く 3D 絵本 (主婦の友社) 2002/12  
 目と脳にマジック絵本 (主婦の友社) 2003/01  
 目が良くなる 3D 絵本 (主婦の友社) 2003/06

Photoshop で描くデジタル絵画 (毎日コミュニケーションズ) 2003/06 共著  
 かわいいい3D 絵本 (主婦の友社) 2003/09  
 Painter らくらく絵画教室 (ソーテック社) 2003/12  
 3D 絵本・3D の不思議な動物園 (中経出版) 2004/07  
 本格レッスン・デジタル絵画 (laputa) 2005/01  
 パソコン絵画入門・世界の巨匠編 (河出書房) 2005/03  
 Shade8 ガイドブック (BNN) 2005/08 共著 p225-256 , p313-343  
 ArtRage で絵を描こう (BNN) 2006/03  
 Illustrator 8・9・10・CS・CS2 バージョンブック (MYCOM) 2006/02 共著  
 Photoshop 5・6・7・CS・CS2 バージョンブック (MYCOM) 2006/07 共著  
 Shade9 ガイドブック (BNN) 2007/01 共著  
 塗り絵で親しむ俳句の世界 (桃園書房) 2007/01  
 Illustrator 8・9・10・CS・CS2・CS3 バージョンブック (MYCOM) 2008/02  
 Shade X ガイドブック (BNN) 2008/02 共著  
 Shade 10.5 ガイドブック (BNN)2009  
 Shade 11 ガイドブック (BNN)2010 共著  
 ArtRage で絵を描こう・改訂版 (BNN 新社) 2010  
 決定版目がみるみる良くなる 3D 絵本 (主婦の友社)2010  
 目がみるみる良くなる 3D 絵本ヒーリング編・文庫 (主婦の友社)2010  
 目がみるみる良くなる 3D 絵本キャラクターズアイ編・文庫 (主婦の友  
 社)2010  
 Shade 12 ガイドブック (BNN)2010 共著  
 目に効く 3D 絵本エキサイト・文庫 (主婦の友社)2012  
 目に効く 3D 絵本サプライズ・文庫 (主婦の友社)2012  
 Shade 3D ver.14 ガイドブック (BNN 新社)2013  
 Adobe Creative Cloud ではじめる、一歩進んだクリエイティブワーク(ワー  
 クスコーポレーション) 2013/9/1  
 【3D stereogram world:「目と脳に良い! 3D ステレオグラムの世界!】iPad  
 用アプリ 2015 年  
 アイデアスケッチの教科書 (inpress R&D)2015/12/4  
 Shade3D ver.16 (BNN 新社) 2016/7/15  
 アートブック IMAGINE (ELEVATION STUDIO) 2020/02  
 目に効く 3D 絵本 2021 以降、ステレオグラム絵本多数出版

=== iPad 用アプリ ===  
 【3D stereogram world:「目と脳に良い! 3D ステレオグラムの世界!】 2015 年

まる<sup>まる</sup>であそぶあーと  
 @2022 ELEVATION STUDIO  
 2022 年 11 月 10 日 初版第一刷発行

著者 Artist HAL\_ (ハル.) <https://hal-i.com/>

アートディレクション HAL\_  
 & デザイン  
 キャプション翻訳 Yellow Toes(星沢セドラック順子)  
 校正協力 弓月ひろみ  
 ○協賛 デジタルハリウッド大学  
 ○協力 泰豊トレーディング

発行人 HAL\_  
 発行所 ELEVATION STUDIO  
 神奈川県横浜市栄区柏陽 26-6  
 hal\_i@mac.com

乱丁・落丁はお取り替えいたします。  
 本書の内容を無断で複製、複写することは禁じられております。